

像について太陽について、5つの思い出

武田実三

2年前デカイフランス人の女の子（ベティちゃん）が千葉の家に泊まりに来てみんなで酒を飲んだ。フランス人という事で小説『異邦人』の話になって盛り上がった。小説の主人公はビーチで拳銃を撃って人を殺す。なんでやったか裁判官に訊かれた主人公は「太陽のせいだ」と答えた。ベティちゃんはその台詞を「理由なんて無い」という意味に受け取っていたそうだが、俺はそれは物語自体を間違っただけで受け取っている！と思った。主人公は太陽が眩しかったから人を殺したに違いない。俺には解る、太陽が眩しいのはマジでムカつくんだよな。絶対人なんて殺さないけど。

この前バスターキートンの映画DVDを観ていてゾツとしたのだが、これってひょっとして何も分けて考えてないんじゃないの!?、アレ？美と笑いと恐怖とポルノと何か世界に対しての批評と何も分けて無いの？ん？そもそも全部同じだったのか？アレ～？俺がおかしいの？

マッケンと和田は子供の頃仲良かったので、同窓会で2人に会った時はすぐその事を思い出した。

話してたら和田が今は警察官僚になってるっていうから、俺が冗談で「おい和田、マッケンさっき便所でシャブやってたぞ～」って言ったら同窓会の会場がシーンとなっちゃった。俺以外みんな知ってた、マッケン刑務所から出て来たばかりだった～。

それでその時のマッケンの服がマトリックスリローデッドのキアヌとおんなじ服だった。革のロングコートみたいな。あんなの着る？、マッケンは、ずいぶん苦労して道を外れたあげく傷害で捕まって出て来てすぐマトリックスの服を着て同窓会に来た。なんで？

保育園生だった時、5つ年上の兄が実家の縁側でごちよごちよやっているのを見つけたので見てみると、兄はカミキリムシを捕まえて銀色のペンでカミキリムシを塗っていた。その遊びは近所の小学生の間で流行っていたらしい、スケボーが流行るみたいに。俺はそれを見てカッコいいと思った。次の日家から5キロくらい離れた保育園に行き、保育園の裏庭の薄暗い草むらに銀色のカミキリムシが20匹くらい集まっているのを見つけた。

湿っぽい草陰に部分的に光が銀のカミキリムシにあたってキラキラしてる。

兄と兄の友人達がマジックで塗った銀色のカミキリムシ達が一気にここに集合している！なぜここに？

15年くらい昔、友達が町田のあたりを原チャリで走っていたら、レトロな車がトロトロ走っていてムカついたそうだ。ポロ車に金をつぎ込んで悦に入ってるアホが、ロマン感じながら俺みてえな民度の低い貧乏人を見下してんだろが、と逆恨みした彼は暴走族風の乱暴な運転でその車を煽ってイライラを解消しようとしたらしい。ところがそのレトロカーの運転手の顔を見た途端その気持ちは消えてしまったそうだ。運転していたのは宮崎駿だった。顔を見た途端に宮崎駿の作品が唐突に頭の中で再生されたらしい。「特に魔女の宅急便で、あの女の子がホウキで飛んでるところがデカく見えた」と言っていた。次の瞬間、彼は力に屈した不良らしく、潔く道を譲り、ちゃんと聞こえるように「お疲れ様で一す！」と元気よく挨拶をしたらしい。その友人は特にスタジオジブリのファンという訳でも無かったので、その話を聞いた時にはアニメーションの作者という者が放つ威光というのか、現実には作用する威力というものに驚いた。